

林業士が岩国市高照寺山で除伐を実施

令和4年3月4日（金）に岩国地区林業士会の有志6名が、岩国市大字六呂師地内の高照寺山頂上付近の岩国市有林にて、人工林広葉樹林の除伐を実施しました。

現地は、平成15年3月23日に平成14年度錦川水系漁民の森づくり植樹祭の会場として、林業士の指導のもと、市民の手により、ヤマグリ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラを1500本植栽した約0.5haの山林です。

同所は、現在、土砂流出防備保安林、保健保安林となっており、また、生活環境保全林として、森林の持つレクリエーション等の保健、休養の場としての機能を発揮し、公衆の保健、衛生に貢献しています。

こうした都市近郊林では、定期的な林床管理（林床の常緑樹の除伐、必要に応じ主林木の間伐や不用木の除去）を行うことが必要なため、今回の実践活動に取り組むことになったものです。

当日は、10時に現地集合し、各自持参した刈り払い機で、約0.25haの除伐作業を行いました。

昼食時に、今後の活動等について協議を行い、林業士からは、今後も地域の森林管理に貢献していきたいとの声が聞かれました。

なお、今回未完了の区域については、来年度以降に実施することとしています。



開会式



作業中



刈り払い機整備中



集合写真